

## 1 日時

令和8年1月10日(土) 午後2時～午後4時

## 2 出席者

合計57名



## 3 実施内容

(1)地域とつくる支援の輪プロジェクト分科会実施結果報告

(2)意見交換

「こども・若者から持ち寄ったテーマについて」



## 4 意見交換の内容

### ■ 公園のたばこのポイ捨てについて

・喫煙所が減り、吸う場所が無くなったことが逆効果になったのではないかな。  
ゴミ箱の設置やゴミが目立たないくらい掃除をすれば、たばこのポイ捨ては減るのではないかな。

### ■ ゴミ箱の設置について

・社会的、歴史的背景があり、どんどんゴミ箱が少なくなっている。設置したほうがいいのかな、持ち帰るほうがいいのかについて話し合った。

### ■ ゴミ処理を利用した火力発電について

・ゴミ処理で発生するエネルギーで発電することについて、勉強している子の話を聞いて感動した。リサイクルの多様性について話し合った。

### ■ ボランティア活動について

・こどもとの接し方について  
・ボランティアしてる時にこどもが泣いてしまい、どう声をかければいいのか  
→傾聴して、前のめりになりすぎないようにする。

### ■ 自助・共助・公助について

・順番を知る事ができて勉強になった。

### ■ SLDについて

### ■ 発達障害について

・発達障害と病名をつけることは良いことなのか、悪いことなのか  
・特性を理解した上で周囲の配慮が一番大事である。  
・その子のことを深く考えるきっかけになる。知らないことと正しく知ることから始める。

### ■ 男女平等について

・持久走で男女に差があるのはなぜかをきっかけに男女平等について話し合った。  
・男女平等といってもどこまでを「平等」とするのか。

### ■ こどもも一人の人として扱ってほしい

### ■ 家族に関する悩みについて

・親はもっとこどもの意見を求めている。甘えていい。

### ■ 地域に勉強できる場所がほしい

・適度なゆるさで勉強ができる空間が欲しい

### ■ 気が許せる適度にゆるい大人がいてもいいのではないかな

・大人が余裕を持つことが大切。答えを求めすぎてしまう。

## ■ 児童館について

・児童館の魅力やもっと良くなったらうれしい点について話し合い、施設や場の大切さについて、改めて実感できた。  
・「児童館は高校生が再び集える場」であること。高校進学を機にばらばらになってしまったこどもが安心して旧友と再会できる場だと思った。

## ■ 大人になるとは

・様々な場所で大人という実感が持てる時がある。周りとの関係性で実感する。  
100%は大人にならない。

## ■ キャリア教育について

・夢は一つにしなくてもいいのではないかな。

## ■ 将来について

・お金の不安、将来への不安  
・情報量が多く、選択するのが難しい。失敗できない社会になっている。  
→人生は何が起こるかわからない。失敗してもいい。恐れないこと。

## 5 感想

### 【大人】

・若い方はしっかりされていてとても嬉しい気持ちになった。  
・若い方たちが社会的活動に能動的に、また課題感をもって参加されている姿に大変感銘を受けました。  
・若者の意見を聞き、大人もしっかりと考えて生きなければ…と思った。  
・学生の生の声が聞けて有意義でした。  
・「夢を一つにきめなくていいのでは」という発言がとても響いた。中高生と関わる時は決めつけた意見をしないよう気をつけようと思った。

### 【こども・若者】

・大人はこどもに対してどのように思っているかについてよくわかった。  
・中学生から大人まで、意見を聞きあい、語り合うことでつながりが生まれたと感じた。  
・大人と話していくにつれ、考え方がわかり、とてもよかった。みんな優しくかった。  
・様々な人と意見交換できたことで自分にない新しいものの見方をすることが出来た。とても話しやすい環境だった。  
・大人になるということに対して明確なことはないが、死ぬまでの間にいくらかでも成長する機会があることを学べたのがとてもよかった。  
・将来の不安について話すことでスッキリできた。まずは、自分がやりたいことをやってみて、自分に自信をもつことが大事ということが分かった。焦らずに、自分のペースで将来について考えていけたらいいなと思った。  
・大人の方々が的確に意見を下さって、とてもいい経験になった。  
・色んなことを知れてうれしかった、楽しかった。

